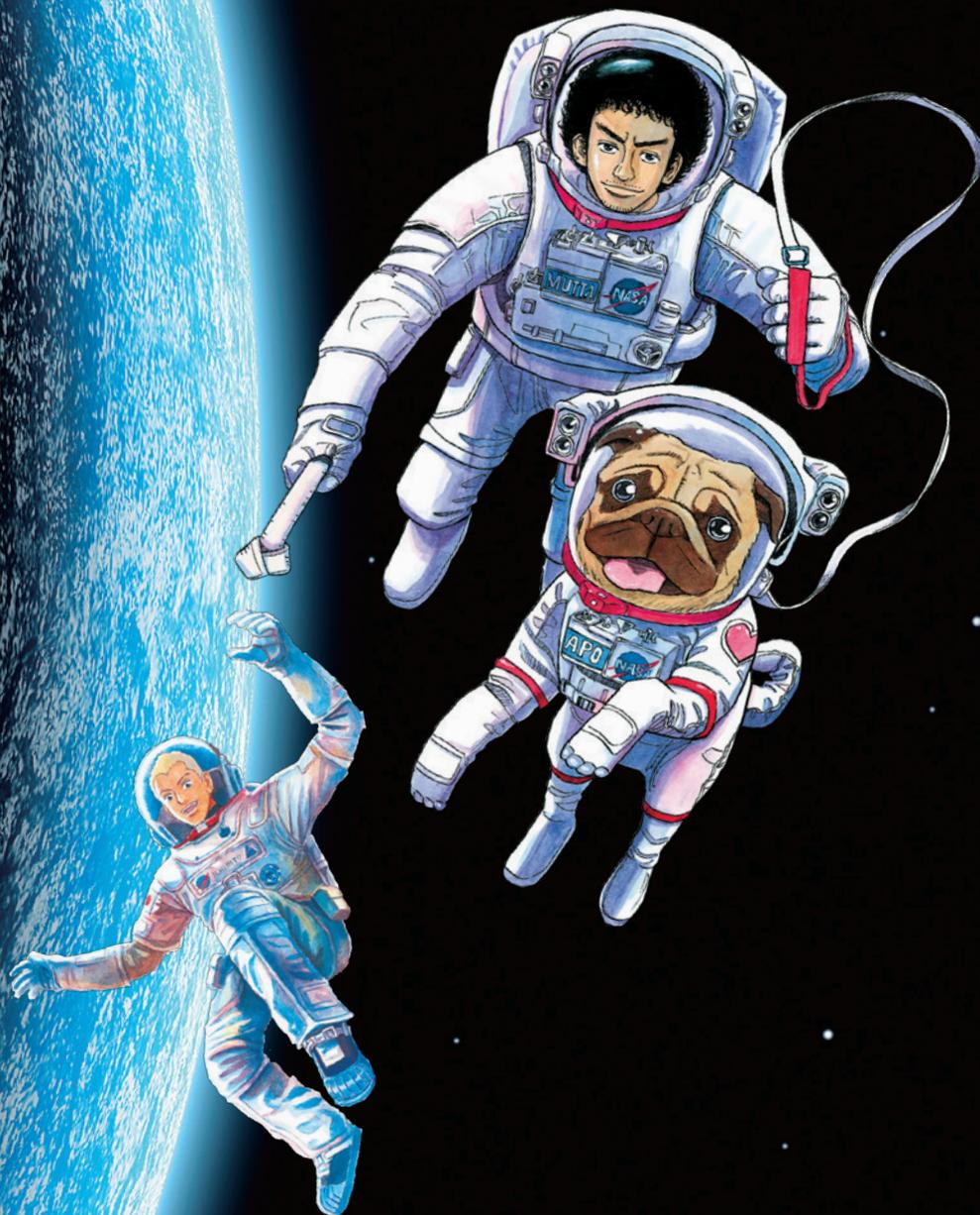


CIT

CHIBA INSTITUTE OF
TECHNOLOGY 2018



千葉工業大学

金融・経営リスク科学科

Department of Risk Science in Finance and Management



1



2

3



①②金融分野を専攻する3つの研究室が合同で行うゼミの様子。仮想市場で株式売買を行う投資シミュレーションを体験する。ゼミの後半には、学生が選んだ企業について財務分析をし、発表を行う。③債券の仕組みや債券価格に関する理論を理解し、実践的な債券ポートフォリオの運用手法を知る。④放射線というリスクに対して、測定器をつかって実際にデータを採り、数値化することでリスクの程度を理解する。

Feature of Department

リスクを発見し見極めた上で、
どのように行動すべきか、
意思決定までの
プロセスについて学びます。

▶ 安藤 雅和教授

金融であれば、企業の債務不履行や株価の変動、経営であれば、在庫過多や製品トラブル。もっと広い視野で見れば食の安全や人間関係など世の中にはさまざまなリスクが潜んでいます。解決すべき問題を発見し、その問題の重大さを数値に表して評価し、どのような対策を講じるべきかその意思決定までのプロセスについて学びます。本学科では金融・情報・生産・生活の4分野のリスクを軸に文理融合型のカリキュラムを編成。学びを通して幅広い知識の習得、多角的な物事のとらえ方、あるいは本質を見極める問題発見能力が養えます。



4



金融分野

金融リスクを把握し、回避する手法を学びます。



情報分野

ネットワーク時代の危機管理術を学びます。



生産分野

安全・安心な製品づくり、技術やエネルギーのリスクを学びます。



生活分野

消費者・生活者を取り巻くリスクを学びます。

主な進路 (過去5年間/順不同)

JR東日本、千葉銀行、日本郵政グループ、福島銀行、銚子信用金庫、館山信用金庫、亀有信用金庫、東京東信用金庫、SMBC日興証券、ちばざん証券、藍澤証券、日産証券、永和証券、日本証券テクノロジー、大東建託、アルゴグラフィックス、TDCソフトウェアエンジニアリング、システムソフト、旭情報サービス、エヌアイデイ、インフォメーション・ディベロプメント、NTT-ME、NTTデータフロンティア、富士通パブリックソリューションズ、日本総研情報サービス、千葉県警、警視庁、千葉工業大学大学院、東京大学大学院、東京工業大学大学院、筑波大学大学院、秋田大学大学院、静岡大学大学院、早稲田大学大学院 他



仕事や生活など、あらゆる局面で役立つリスク管理の手法を多角的な視点から身につけます。

Point

1

リスクマネジメントに特化した日本で唯一の学科です。

Point

2

グローバル人材を育成する「国際コース」を設置しています。

Point

3

4分野の専門知識を学び、幅広い進路で活躍できます。



Check! 私のまなび

幅広い学びで自分の視野が大きく広がりました。

田久保 真伍さん 3年
[千葉県/県立磯辺高等学校 出身]

「おもしろそう」というくらいの軽い気持ちで学科を選んだのですが、最初の2年間で金融リスク、情報リスク、製品安全やエネルギー問題などさまざまな分野について学んだことで、視野が大きく広がりました。また、この学科には他学科にはない「国際コース」が設けられており、私もこのコースを選択。2年次にはグアム大学へ3週間短期留学しました。現地の人々との触れ合いや大学での学びを通じて、多様な価値観を知ることができました。将来は、今までお世話になった人への恩返しと社会貢献をしていきたいと考えています。まだ何をしたいか、何ができるかははっきりとは見えていませんが、これまでの幅広い学びの中で多くの選択肢が見えてきたので、これからじっくり考えていきます。

時間割例 [3年次・後期]

	月	火	水	木	金	土
9:00 ↓ 10:30		生産システム および演習				
10:40 ↓ 12:10	技術開発リスク マネジメント	ヒューマンファクタの リスクおよび演習	資源・エネルギー リスクマネジメント		投資戦略と評価	
13:10 ↓ 14:40		環境リスクマネジメント および演習	セミナー 2			
14:50 ↓ 16:20			産業・組織心理学		金融・経営リスク マネジメント実験	

※ 金曜日の16:30~18:00「課題研究」を受講

4年間の学びのステップ

1 年次

リスクとは何かを知り、
背景となる経済活動の
仕組みを学修します。

2 年次

4分野の基礎を
横断的に
学びます。

カリキュラム表

教養科目についてはP.39へ

コース決定

科目		1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター
学部共通専門科目	論理的理解の養成	基礎数学および演習	線形代数入門	オペレーションズリサーチ入門	データ解析入門 データマイニング入門
	エンジニアリングの養成		情報リテラシ ベンチャービジネス論	科学技術者倫理 環境保護と法	
	社会システム科学の基礎	社会システム科学入門	企業の法的環境 社会システムと意思決定	ビジネスコミュニケーション	
	基礎科目	情報処理基礎および演習 リスク科学概論	コンピュータサイエンス入門 経済金融入門	プログラム言語基礎 環境リスク 確率論	ファイナンス概論
専門科目	基幹科目	安全と安心の心理		リスク対策と保険 *グローバル・スタディーズI *グローバル・スタディーズII	知的財産権 経営管理論 会計システム 金融リスク論 情報リスクマネジメント 製品安全マネジメント Pick Up!
	展開科目				
	発展科目				

授業
Pick
Up!

情報リスクマネジメント

現代社会につきまとう情報リスクから
人々を守る知識を獲得します。

情報システム、情報リスク、AI(人工知能)、IoT、
技術経営、経営戦略、ビジネスモデル

森 雅俊教授

コンピュータとインターネットを中心としたネットワークの発達や、スマホやタブレット端末の普及により、社会や日常生活は大きく変わってきました。こうした情報化社会の発展にともなって生まれたのが、個人や会社組織の情報漏えいをはじめとする「情報リスク」です。この授業では、まず、情報リスクの種類やその内容について学習。その上で、コンピュータウイルスなどの情報ウイルスの詳細や対策、漏えいを防ぐための暗号化、組織におけるISMS(情報セキュリティマネジメントシステム)など、リスクを減らすための方法について学んでいきます。今あるリスクに対応できる力を身につけることで、新たなリスクを予見し、防ぐ力も育っていきます。



情報セキュリティの脅威について学ぶ

投資戦略と評価

企業の継続に欠かせない投資。
その方法を実践的に学びます。

意思決定、金融投資、金融リスク管理、システム科学

喜多村 正仁助教

超低金利の時代に資産を増やすには、銀行に預金をするだけでなく、リスクをとって投資をする必要があります。投資は一攫千金をねらうマネーゲームではなく、自らの資金が世界中をめぐる企業や国、国際機関の活動原資となり、人々の生活を豊かにするという側面も持っています。

この授業では株式、債券、外国為替やそれらを組み合わせたまざまな投資対象の性質と投資方法を解説します。投資判断の基礎となる世界経済の見方、企業の財務分析、売買のタイミングを見極めるテクニカル分析や運用資金のリスク管理など実践的、体系的な投資の知識を演習課題を通して身につけます。



企業に投資する前の基本情報の見方や分析方法を身につける

3年次

研究室に所属し、
リスク評価の具体的な
手法など専門性を高めます。

4年次

卒業研究に取り組み、
関心のあるテーマを
掘り下げます。

研究室決定

5 Semester	6 Semester	7 Semester	8 Semester
フィールドアクティビティ			
現代技術論			
安全システム工学 投資意思決定の数理 環境リスク分析 生活とリスク 社会心理学 データサイエンスおよび演習			
サービスサイエンス入門 金融工学 コーポレートファイナンス 情報システム開発 サイバーリスクマネジメント	Pick Up! 組織運営のリスクマネジメント 投資戦略と評価 技術開発リスクマネジメント 資源・エネルギーリスクマネジメント 産業・組織心理学 環境リスクマネジメントおよび演習 ヒューマンファクタのリスクおよび演習 リスクコミュニケーションおよび演習 生産システムおよび演習 金融・経営リスクマネジメント実験	国際コースとは!? 海外の経済事情・異文化を理解し、 コミュニケーション能力を高めて国 際社会で活躍できるグローバル人 材を育成します。このコースの学生 は、2年次に3週間、海外交流協 定大学（グアム大学など）で講義 に参加します。また海外インター シップや研究の機会を与えます。	
ゼミナール1	ゼミナール2 課題研究	卒業研究	

Topics

国際コースとは!?

海外の経済事情・異文化を理解し、
コミュニケーション能力を高めて国
際社会で活躍できるグローバル人
材を育成します。このコースの学生
は、2年次に3週間、海外交流協
定大学（グアム大学など）で講義
に参加します。また海外インター
シップや研究の機会を与えます。



グアム大学での発表会の様子

情報技術社会論
防災および危機管理システム
投資シミュレーションおよび演習

(赤文字: 必修科目 黒文字: 選択科目 緑文字: コース必修) ※カリキュラムは一部変更となる場合があります。
*国際コースのみ履修可能

研究室 Pick Up!



放射線のリスク調査を距離や遮へいなどさまざまな条件下で行う

リスクを正しく理解し、社会と 技術のマッチングを探ります。

資源やエネルギーの多くを海外に依存するわが国にあって、エネルギーの安定供給は大きな課題になっています。また、東日本大震災以降、エネルギーの安全性への関心が一気に高まり、資源・エネルギー、そして、それを使う技術の開発に一層の慎重さが求められています。言うまでもなく、いたずらに恐れているのは日本の抱える問題はいつまでも解決しません。リスクを科学的に分析し、危険性をできるだけ排除した上で、資源や技術を有効活用する方策を研究し、その成果を実社会に還元することをめざしています。

自然エネルギー・省エネルギー・省資源、技術経営、経営戦略・経営資源・
ビジネス創成・ビジネス資源、未利用資源・地球環境

山崎 晃教授



社会心理学の視点から リスクマネジメントを研究しています。

コミュニケーション、心理学
高木 彩准教授



私たちの身のまわりには、地震や新型インフルエンザ、食品問題など多くのリスクが存在します。消費者はそうしたリスクに対して専門家とはちがったイメージをもっている場合があります。そこで、リスクに対する仮説を立て、調査・実験・分析を行って消費者のイメージを解き明かし、どのような情報発信をすれば、消費者が適切にリスクを回避できるようになるのかを考察していきます。リスクマネジメントはあらゆる企業に必要とされているので、卒業後は広報、マーケティング、商品開発部門など、幅広い業種・職種での活躍が期待されます。



生活の中に存在するリスクの認知度を調査し、分析する